

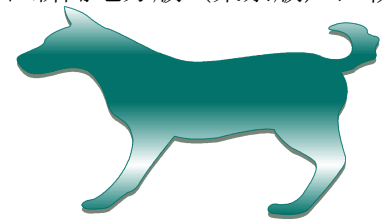


「夢・目標をもち続け、 それを実現していくこと」 ～ある新聞記事を読んで～

校長 中山 徹

今年の夏は、自然災害や国際情勢に関するニュースがとても目立ちました。そんな中、1つの小さな新聞記事を見つけました。8月29日の朝日新聞地方版（東京版）に載った記事です。

「ここほれワンワン 床下から拳銃 警察犬『ムーンロケット号』 警視総監賞」



民家の床下に隠されていた拳銃の発見に貢献したとして、警察犬とその警察犬を担当している警察官に警視総監賞が贈られたという記事でした。

記事の横には、その警察犬と担当警察官が並んで写った写真が・・・。

その写真を見て、「あれっ？」と思いました。そして、記事に出ているその警察官の名前を読んで、「おおっ！」と思わず声を上げてしまいました。

なんと、その警察官は、年齢相応の風貌になってはいますが、小・中学校で同級生だったS君です。たまたま、自宅が近かったということもあり、子供の頃からS君が大の犬好きであったことや、警察官になって警察犬の育成に関わりたいたいと考えていたことなどは知っていました。その後、彼が転居したため、直接会って話す機会は全くありませんでしたが、警察官として堅実に働いているということは、風の噂で私の耳に届いていました。

ものすごく嬉しい気持ちがこみ上げてきました。

ここに至るまでに、警察官という立場上、S君は様々な部署で職務にあたっていたはずですが、社会の治安を守る重い仕事です。つらいこと、苦しいことも多々あったことと思います。でも、彼は警察犬育成という大きな目標を常にもち続け、コツコツと努力を重ね、それを実現しました。そして、今はそれを生業（なりわい）として、社会に大きく貢献しています。

私たちは、夢や目標について考えるとき、その実現まで多くの時間を費やすことをためらい、「早く実現すること」を目指してしまう傾向があるのではないのでしょうか。ただ、このことは決して悪いことではありませんし、若い年齢の時にしか取り組めないこともたくさんあります。目の前にある夢や目標に、前向きに全力で取り組んでいくことも大切なことです。

一方、S君のように、長い年月をかけて、自分の想いを暖めながら、それを実現していく生き方も、私にはとても素敵に見えます。

生徒たちに、「そんな生き方もある」ということを是非知ってもらいたいな、と考えました。人生は一度きりです。「自分の良さ」が活かされる生き方を、模索して行ってほしいと思います。時には、慌てずに、じっくりと・・・。